

1.目標（案）

かつて吉野川は、大雨のたびに洪水を繰り返し、住民を苦しめる暴れ川でした。その一方で、流域の人々に様々な恵みを与えてきました。

川の氾濫で運ばれた土砂は藍作に適した肥沃な土地をつくり、アユやウナギ、ジンゾクなどの様々な川の幸は、食卓を彩り、食文化を育んできました。川辺の竹林は和傘や釣竿づくりなどの生業を、吉野川の舟運は流域に大きな振興をもたらしました。現在は、大歩危・小歩危等の景勝地に多くの観光客が訪れ、ラフティング、釣り等のさまざまな活動の場となり、観光資源として地域振興の一端を担っています。

川からの恵みは経済的なものだけではありません。河口の雄大な風景や、中流の河原の白と空の青に竹林がそよぐ風景、上流の岩場の荒々しい風景は、ふるさとの風景として流域の人々の心に刻まれ、精神的な恵みを与えています。

「吉野川流域生態系ネットワーク」は、ふるさとの生きものの生息場所を守り、再生し、つなぐことにより、自然と共生する流域の実現を目指す取り組みです。これは、生きものや自然を守ることをのみを目的として行うものではありません。流域に暮らす人々が、様々な自然からの恵みを将来にわたって得られるようにすることを大きな目的としています。

「吉野川流域生態系ネットワーク」は、生きもののすみやすい環境を守り、取り戻す取り組みを通じて、人と自然の関わりを深めるとともに、流域の魅力づくりや地域活力の向上に役立てることを目標として行います。

これによって、川辺に自然と触れ合う子どもたちの笑い声が響き、自然とのふれあいや地域の食文化、美しい風景を求めて多くの人々が訪れ、住民が誇りと愛着を持ちながら暮らしていくことのできる流域を実現していきます。

2.基本方針（案）

前記の目標を実現するために、吉野川流域生態系ネットワーク形成の取り組みは、3つの基本方針に基づいて実施します。

■基本方針1（生物多様性の保全の方針）

**生きものが生息する「場所」を守り、再生し、つなぐことにより、
多くの生きものが訪れ、生息する流域にする**

吉野川流域には、吉野川をはじめとする河川や水路、ため池、ハス田、水田、林、草地などのさまざまな「場所」があり、生きものはそれぞれの生態に適した場所に生息しています。

これら、生きものが生息する様々な場所を守り、再生し、つなぐことにより、多くの生きものが訪れ、生息する流域にします。

■基本方針2（人と自然の関わりの方針）

**ふるさとの自然に親しむ場や機会を増やし、
流域への愛着や誇りを育む**

生態系ネットワーク形成の取り組みを通じて、子どもたちをはじめとする広い世代の流域の人々が、吉野川流域の自然に親しむ場や、自然とふれあう機会を増やします。

これによって、ふるさとの自然や自然に育まれてきた文化、ふるさとの風景への関心を高め、吉野川流域に暮らす誇りや愛着を育みます。

■基本方針3（地域振興の方針）

**地域の魅力づくりや活力の向上に役立て、
多くの人や組織の参加する取組にする**

川の幸を活かした伝統的な食文化や、レクリエーション活動、エコツアー、地域のイメージアップなど、地域振興に関わる事業に取り組むことにより、人々の関心を高め、多くの人や組織が参加する広がりを持つ取り組みとしていきます。

3.プロジェクト（案）

A.水辺のネットワークプロジェクト

A-1.海から水田までのネットワーク形成

【目標種】アユ・ウナギ・サツキマス・ナガレホトケドジョウ

- ・ 生息実態の把握（生息状況・分断状況等）
- ・ 登りやすく降りやすい魚道への改善
- ・ 河川から水田までの連続性の確保
- ・ 支川における砂防堰堤等による分断化の解消
- ・ アユやサツキマスの産卵場所の再生
- ・ ウナギの寝床づくり

A-2.身近な水辺のネットワーク形成

【目標種】カワバタモロコ・トンボ類

- ・ 水路・ため池の現状把握
- ・ 水路の環境改善
- ・ 学校等での池や流れの創出
- ・ 河川敷における池・ワンドの保全・創出
- ・ 湧水環境の現状把握と保全の検討

B.渡り鳥を迎える流域づくりプロジェクト

B-1.ツルやガンを迎える地域づくり

【目標種】ナベツル・ソデグロツル・マガン・ヒシクイ

- ・ 吉野川中洲におけるツルの生息環境の保全・再生
- ・ 善入寺島周辺におけるツルの生息環境保全
- ・ マガンやヒシクイの休息するマコモやヨシの生育する池の創出
- ・ ハス田の保全
- ・ ツル類やガン類についての普及広報

B-2.シギ・チドリを迎える地域づくり

【目標種】シギ・チドリ類

- ・ 干潟の保全
- ・ 河川敷における湿地環境の創出
- ・ ハス田の保全
- ・ シギ・チドリについての普及広報

C.人と生きものが集う下流域づくりプロジェクト

C-1.旧吉野川・今切川の自然拠点づくり

【目標種】シギ・チドリ類・トンボ類

- ・ 河道掘削による湿地環境の創出
- ・ 旧吉野川の河畔林の保全と活用
- ・ 水辺の生きもの観察スポットづくり

C-2.吉野川河口～下流の自然拠点づくり

【目標種】シギ・チドリ類・シオマネキ・ルイスハンミョウ・干潟性のハゼ類・トンボ類

- ・ 河道掘削による湿地環境の創出
- ・ 河口干潟と沖洲海浜公園のネットワーク
- ・ 水辺の生きもの観察スポットづくり
- ・ 土砂管理による干潟の保全
- ・ 保全と利活用の調整
- ・ ヨシ原の保全
- ・ シオマネキ・ハクセンシオマネキの生息マップ作成

D.中流域のふるさとの川再生プロジェクト

D-1.美しい竹林の再生

【目標種】マイヅルテンナンショウ・アキザキヤツシロラン

- ・ 竹林の管理推進
- ・ 竹林管理による発生材利用の促進
- ・ 竹林に特有な希少植物の保護・増殖

D-2.れき河原の保全・再生

【目標種】ツル類・コチドリ・コアジサシ

- ・ 樹林管理の促進
- ・ 樹林管理による発生材利用の促進
- ・ 支川合流部や善入寺島周辺の多様な水辺環境の保全・再生

D-3.宮川内谷川上流の自然と文化の継承

【目標種】ジンゾク・ゲンジボタル・サワガニ

- ・ ジンゾクの実態調査
- ・ ジンゾク・ゲンジボタル・サワガニなどの生息しやすい河川環境の再生
- ・ ジンゾク狩りなどの地域文化の継承と観光振興への活用

E.川に人が集い・親しむプロジェクト

E-1.川への興味と関心の醸成

- ・ 吉野川流域の魅力発信（四国一の清流、吉野川らしい風景など）
- ・ 食文化や生活文化の伝承と地域振興への活用（潮干狩り、ジンゾク狩り、ジンゾクたらいうどん、アユの郷土料理、スジアオノリ、シジミ、シラスウナギなど）
- ・ 生きもの観察スポットづくり
- ・ 活動・行事の地域住民等へのPR
- ・ 竹林や樹林管理で発生した材の活用促進

E-2.川の自然を学び・親しむ機会の提供

- ・ エコツアー・スタディーツアーの推進
- ・ ラフティング、カヤックなどのリバースポーツの推進
- ・ 子供が川遊びをする機会の提供と、川遊びに適した場所の保全
- ・ 学校における環境教育での利用の促進
- ・ 川の事故防止に向けた啓発
- ・ 人材育成プログラムの実施
- ・ 水辺の楽校の有効活用

F.協働による事業推進プロジェクト

F-1.推進の体制や仕組みづくり

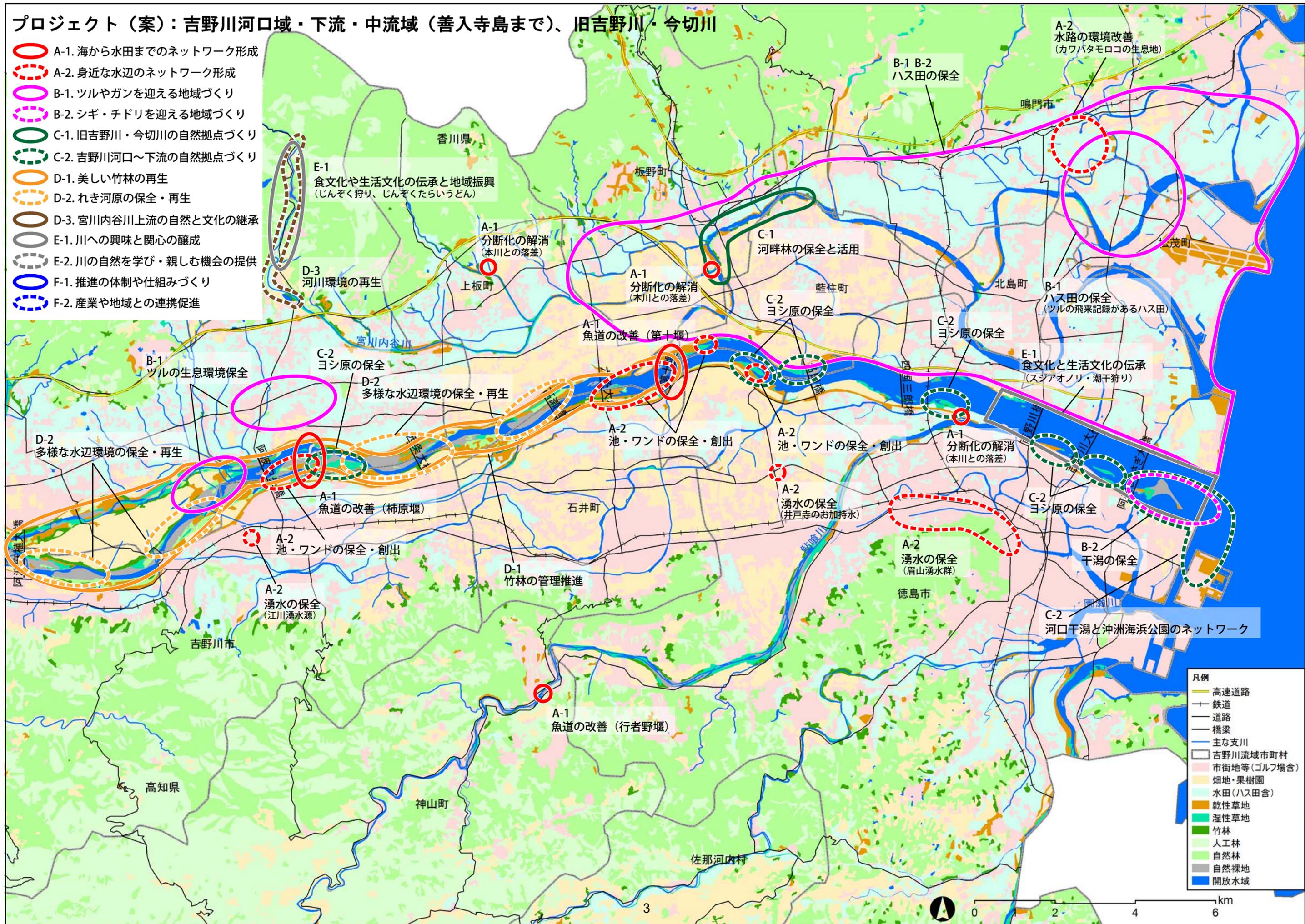
- ・ 多様な主体の自発的な活動を促すしくみづくり
- ・ 協働の事務局づくり
- ・ 情報共有のしくみづくり

F-2.産業や地域との連携促進

- ・ 民間企業のCSR活動との連携促進
- ・ 地域間の連携促進
- ・ アドプトプログラムの充実

プロジェクト (案) : 吉野川河口域・下流・中流域 (善入寺島まで)、旧吉野川・今切川

- A-1. 海から水田までのネットワーク形成
- A-2. 身近な水辺のネットワーク形成
- B-1. ツルやガンを迎える地域づくり
- B-2. シギ・チドリを迎える地域づくり
- C-1. 旧吉野川・今切川の自然拠点づくり
- C-2. 吉野川河口～下流の自然拠点づくり
- D-1. 美しい竹林の再生
- D-2. れき河原の保全・再生
- D-3. 宮川内谷川上流の自然と文化の継承
- E-1. 川への興味と関心の醸成
- E-2. 川の自然を学び・親しむ機会の提供
- F-1. 推進の体制や仕組みづくり
- F-2. 産業や地域との連携促進



- 凡例
- 高速道路
 - 鉄道
 - 道路
 - 橋梁
 - 主な支川
 - 吉野川流域市町村
 - 市街地等(ゴルフ場含)
 - 畑地・果樹園
 - 水田(ハス田含)
 - 乾性草地
 - 湿性草地
 - 竹林
 - 人工林
 - 自然林
 - 自然裸地
 - 開放水域



プロジェクト（案）：中流域（32km～65km 区間）

- A-1. 海から水田までのネットワーク形成
- A-2. 身近な水辺のネットワーク形成
- B-1. ツルやガンを迎える地域づくり
- B-2. シギ・チドリを迎える地域づくり
- C-1. 旧吉野川・今切川の自然拠点づくり
- C-2. 吉野川河口～下流の自然拠点づくり
- D-1. 美しい竹林の再生
- D-2. れき河原の保全・再生
- D-3. 宮川内谷川上流の自然と文化の継承
- E-1. 川への興味と関心の醸成
- E-2. 川の自然を学び・親しむ機会の提供
- F-1. 推進の体制や仕組みづくり
- F-2. 産業や地域との連携促進



凡例

	高速道路
	鉄道
	道路
	吉野川流域市町村
	市街地等(ゴルフ場含)
	畑地・果樹園
	水田(ハス田含)
	乾性草地
	湿性草地
	竹林
	人工林
	自然林
	自然裸地
	開放水域



プロジェクト（案）：中流域（池田ダムまで）・上流域

- A-1. 海から水田までのネットワーク形成
- A-2. 身近な水辺のネットワーク形成
- B-1. ツルやガンを迎える地域づくり
- B-2. シギ・チドリを迎える地域づくり
- C-1. 旧吉野川・今切川の自然拠点づくり
- C-2. 吉野川河口～下流の自然拠点づくり
- D-1. 美しい竹林の再生
- D-2. れき河原の保全・再生
- D-3. 宮川内谷川上流の自然と文化の継承
- E-1. 川への興味と関心の醸成
- E-2. 川の自然を学び・親しむ機会の提供
- F-1. 推進の体制や仕組みづくり
- F-2. 産業や地域との連携促進



D-1 竹林の管理推進

A-1 魚道の改善 (池田ダム)

A-1 分断化の解消 (本川との落差)

A-1 分断化の解消 (本川との落差)

E-2 リバースポーツの推進 (ラフティング)

- 凡例
- 高速道路
 - 鉄道
 - 道路
 - 吉野川流域市町村
 - 市街地等(ゴルフ場含)
 - 畑地・果樹園
 - 水田(ハス田含)
 - 乾性草地
 - 湿性草地
 - 竹林
 - 人工林
 - 自然林
 - 自然裸地
 - 開放水域

プロジェクトの具体化イメージ(役割)

